

●所管：会計課、企画総務部、市民部、消防、議会事務局、監査委員事務局、選挙管理委員会事務局、公平委員会事務局、他の常任委員会に属しない事項

常任委員会で議会改革に取り組む

総務委員会

■委員相互間の論議を実施

本委員会では10月31日の委員会から、委員間討議を始めています。「委員相互間の論議」は議会基本条例にも掲げており、委員会としての合意形成と、政策提言能力の向上を図ることが目的です。具体的には、委員会で行政当局の退室後に、その日に提出された議題について委員のみで意見交換を行い、会派や委員間の相互理解に努めています。これまでに委員間討議を5回行っており、今後も引き続き行っていく予定です。

■1票にかかる経費は・・・

12月6日及び19日の委員会で、昨年の衆議院議員選挙

(12月16日投開票)を行うための予算として、一般会計補正予算4,000万円の増額を11月16日付で専決処分した旨の説明を受け、本会議最終日に全会一致で

承認しました。決算額は25年度9月定例会で示されます。

12月2日現在の有権者は103,717人で、有権者一人当たりの経費(投票所入場券の印刷・郵送料、ポスター掲示等)は、約386円になります。

前回の平成21年8月に実施した同選挙では、予算額4,000万円に対し、決算額は3,487万円でした。



選挙のめいすいくん

大牟田市の子供たちの学力は

●所管：保健福祉部、教育委員会

教育厚生委員会

■平成24年度全国学力・学習状況調査

12月5日の委員会で、平成24年度全国学力・学習状況調査についての報告を受けました。この調査は、教育に関する継続的な検証・改善を目的としており、今年度、本市では全ての小中学校で実施されています。調査対象は、小学6年生と中学3年生で、教科は国語、算数(数学)、理科です。本市の学力層の分布状況は、全体として、小・中学校ともに、AからDの4段階のうち、A層(上位層)が少なく、D層(下位層)がやや多い状況であり、今後、少人数授業を取り入れた習熟度別学習などの指導体制の工夫を行い、児童生徒の実態に応じた学習

の充実を図る必要があるとの報告を受けました。

■市立図書館、三池カルタ・歴史資料館の臨時休館

同日の委員会で、三池カルタ・歴史資料館等複合施設の臨時休館について報告を受けました。休館期間は平成25年1月21日(月)から3月29日(金)までで、空調設備の全面改修と図書貸出しシステムの全面更新が行われます。休館中は、市立図書館と三池カルタ・歴史資料館の利用はできませんが、近接する柳川市、みやま市、荒尾市の図書館は利用が可能です。また、中央地区公民館を除く6地区公民館の図書コーナーは、25年2月末までは通常どおり貸出しが行われます。

●所管：産業経済部、都市整備部、環境部、企業局、農業委員会事務局

土砂災害から人命や財産を守る

都市環境経済委員会

■土砂災害警戒区域等の指定について

12月19日の委員会では、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律に基づき、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の指定を行う旨の説明を受けました。これは、土砂災害が発生するおそれのある区域を明らかにして、危険の周知や警戒避難体制の整備、危険な開発行為の制限等を行い、土砂災害から住民の生命を守るため、県知事が土砂災害により被害を受けるおそれのある場所の調査をし、警戒区



域等の指定を行うもので、調査結果や住民説明会、さらには、指定に向けたスケジュール等について質疑が交わされました。

●本市の土砂災害警戒区域(通称：イエローゾーン) …土砂災害のおそれがある区域

急傾斜地の崩壊	土石流	地滑り
251箇所	45箇所	4箇所

●本市の土砂災害特別警戒区域(通称：レッドゾーン) …建物が破壊され、住民に大きな被害が生じるおそれがある区域

急傾斜地の崩壊	土石流	地滑り
234箇所	42箇所	該当なし